



銘

●くらふね銘石B

視覚に優しい ゴシック体

●くらもち銘石B

垂直・水平が 好きですか？

碑

中国・晋代の碑石体が今甦る！

●くらもち銘石B

●くれたけ銘石B
中国・晋代の墓誌にもちいられた隷書体をとくに銘石体といいます。その典型例が『王興之墓誌』です。もはや自然界に存在しないまでに鋭角的で水平・垂直線ばかりが強調された現代ゴシック体にかえ、ここにヒューマン・サンセリフ銘石Bを提案いたします。

●くらふね銘石B
中国・晋代の墓誌にもちいられた隷書体をとくに銘石体といいます。その典型例が『王興之墓誌』です。もはや自然界に存在しないまでに鋭角的で水平・垂直線ばかりが強調された現代ゴシック体にかえ、ここにヒューマン・サンセリフ銘石Bを提案いたします。

●くらもち銘石B

中国・晋代の墓誌にもちいられた隷書体をとくに銘石体といいます。その典型例が『王興之墓誌』です。もはや自然界に存在しないまでに鋭角的で水平・垂直線ばかりが強調された現代ゴシック体にかえ、ここにヒューマン・サンセリフ銘石Bを提案いたします。

かねてより、十分なインパクトがありながら、視覚に優しいゴシック体、それもいわゆるディスプレイ・タイプではなく、文字の伝統を継承しながらも、用途のひろいサンセリフが欲しいとされるご要望が寄せられていました。確かにわが国のゴシック体のほとんどは、もはや自然界に存在しないまでに鋭角的で、水平線・垂直線ばかりが強調されています。

今回ご提案した「銘石B」の原姿はふるく、中国・晋代の『王興之墓誌』(三四一年、南京博物館蔵)にみる、彫刻の味わいが増えられた隷書の一

種、とくに碑石体と呼ばれる書風をオリジナルとしています。『王興之墓誌』は一九六五年に南京市郊外の象山で出土しました。中国江南の地に残された貴重な碑石体が、現代に力強くよみがえりました。

●くれたけ銘石B おこそこのほもよろをいきしち銘石メイセキ

●くらふね銘石B おこそこのほもよろをいきしち銘石メイセキ

●くらもち銘石B おこそこのほもよろをいきしち銘石メイセキ

